

NITS・教職大学院等	千葉大学大学院教育学研究科高度教職実践専攻
コラボ研修プログラム	千葉大学教職大学院シンポジウム
支援事業報告書	【NITS・千葉大学教職大学院コラボ研修】 千葉大学教職大学院シンポジウム 「デジタル時代に求められる新たな教育」 開催日時：令和6年2月10日 13:30～17:00 開催場所：千葉大学（千葉県千葉市稲毛区弥生町 1-33） 参加人数と参加者の属性：111人（現職教員42人、大学・行政・学生他69人）

**内容：**

**基調講演**

「令和の日本型学校教育」の構築を目指して

～NEXT GIGAで期待されるICT活用の視点～ 千葉県教育委員会教育長 富塚昌子 氏

(概要) 令和5年3月の策定された千葉県学校教育情報化推進計画で目指す「子供」「教員」「学校」の姿に関する説明がなされ、ICT活用事例が提示された。県の課題として、自治体や学校間での利用状況、教員の指導力に差が拡大していることや子供の学びの変革につながっていないことなどがあり、クラウドを活用した研修等、令和6年度に向けた取組について説明された。令和の日本型学校教育実現のためには変化することへの抵抗を取り除く必要性があるとまとめられた。

**シンポジウム**

「デジタル時代に求められる新たな教育を考える」

【シンポジスト】

中川 哲 氏 株式会社EdLog 代表取締役社長 文部科学省初等中等教育局視学委員GIGAスクール推進担当

伊藤 淳 氏 千葉市教育委員会学校教育部参事兼教育改革推進課長

大木 圭 氏 山武市立日向小学校 校長

八木澤史子 千葉大学教育学部 助教

【コーディネーター】 貞廣斎子 千葉大学 教授

(概要) シンポジストから、国や社会の動きを踏まえたGIGAスクール構想の趣旨や市行政として行っている研修や戦略的取組、学校現場レベルで行っている校内体制づくり、大学としての理論と実践の往還を意識した研修内容の具体が提示された。会場からの質問、意見も踏まえながら、子供の学びの変革に向けた姿等について活発な討論が行われた。

**成果：** 終了後のアンケートから（回答数28人）

- ・Q参加理由…学びを業務に活用23人、内容20人、自己の能力開発19人、講師17人（上位4項目）
- ・Q内容に満足できたか…とても満足20人、満足8人、否定的回答なし
- ・Q実施時期、運営について…とても満足24人、満足4人、否定的回答なし

<自由記述から>

- ・多方面からの知見を聞ける講師の人選で、良いシンポジウムでした。ありがとうございました。
- ・現場にいと知っていることを確かめ合うが、シンポジウムは新たな考えを学ぶ機会となった。
- ・次年度に向けて考えてる時期なので非常に参考になった。
- ・限られた時間で、多くの学ぶキーワードを得ることができた。

**アイデアや工夫したこと：**

- ・千葉県教育委員会教育長に基調講演をお願いした。
- ・千葉県教育委員会、千葉市教育委員会の後援を得た。
- ・案内を千葉県内全公立学校に配付した。
- ・現職教員が参加しやすいよう、土曜日の午後に実施した。

<写真・図など>

【基調講演】

千葉県教育委員会教育長 富塚昌子 氏



【シンポジウム】



【開催案内】